

ならしん景気動向調査レポート

(第17回) 2018年 7月期

奈良信用金庫 総合企画部 奈良県大和郡山市南郡山町529-6

TEL (0743-54-3116) URL <http://www.narashin.co.jp>

1. 調査期間…… 平成30年7月
2. 調査時点…… 平成30年7月 (前回調査 平成30年4月)
3. 調査対象…… 当金庫取引事業先
※対象先は任意に選定(毎年一部見直し)
4. 調査方法…… 往訪面談・電話等によるヒアリング調査
5. 回答状況

	対象先数	回答先数	回答率
製造業	39	38	97.4%
不動産業	17	17	100.0%
サービス業	14	13	92.9%
卸売・小売業	31	30	96.8%
建設業	14	14	100.0%
運輸業	9	9	100.0%
医療・福祉	11	11	100.0%
全業種合計	135	132	97.8%

当金庫でお取引をいただいている事業先から業種に偏りのないよう135社を任意に選定させていただき、最近の業況・資金繰り等、景気動向に関連するアンケート項目の聞き取りについて、ご協力をお願いいたしました。
うち、132社よりご回答を賜りました。

今回調査結果一覧

平成30年7月

全業種

	対象先数	回答先数	回答率	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI
				業況	売上金額	収益	資金繰り	前年同期比売上	前年同期比収益	残業時間	人材
製造業	39	38	97.4%	46.2%	33.3%	15.4%	33.3%	25.6%	30.8%	0.0%	-10.3%
不動産業	17	17	100.0%	11.8%	11.8%	0.0%	17.6%	29.4%	29.4%	5.9%	0.0%
サービス業	14	13	92.9%	7.1%	28.6%	7.1%	0.0%	21.4%	0.0%	-7.1%	-7.1%
卸売・小売業	31	30	96.8%	-3.2%	-19.4%	-3.2%	3.2%	-32.3%	-16.1%	32.3%	9.7%
建設業	14	14	100.0%	57.1%	50.0%	7.1%	35.7%	7.1%	14.3%	-7.1%	0.0%
運輸業	9	9	100.0%	66.7%	55.6%	33.3%	66.7%	55.6%	33.3%	11.1%	33.3%
医療・福祉	11	11	100.0%	27.3%	27.3%	27.3%	27.3%	9.1%	9.1%	9.1%	0.0%
全業種合計	135	132	97.8%	27.4%	20.7%	9.6%	23.0%	11.1%	13.3%	8.1%	0.7%

	借入実施		設備投資実施			
	あり	なし	あり	なし		
製造業	22	14	14	21		
不動産業	9	7	2	14		
サービス業	9	4	6	7		
卸売・小売業	11	16	6	23		
建設業	8	6	2	12		
運輸業	4	4	6	2		
医療・福祉	5	5	2	8		
全業種合計	68	56	38	87		

「DI」について

「diffusion index (ディフュージョン・インデックス)」の略で、景気・業況などの動きを示すものです。このレポートでは、お客さまからいただいたご回答のうち「良い」「やや良い」の割合から、「やや悪い」「悪い」の割合を引いたものを記載しています。

(例) 業況について ご回答 (5社)

A社	(1) <u>良い</u>	(2) やや良い	(3) 普通	(4) やや悪い	(5) 悪い
B社	(1) 良い	(2) <u>やや良い</u>	(3) 普通	(4) やや悪い	(5) 悪い
C社	(1) 良い	(2) やや良い	(3) <u>普通</u>	(4) やや悪い	(5) 悪い
D社	(1) 良い	(2) やや良い	(3) 普通	(4) <u>やや悪い</u>	(5) 悪い
E社	(1) <u>良い</u>	(2) やや良い	(3) 普通	(4) やや悪い	(5) 悪い

$$DI = \left[\frac{(\text{良い} \times 2 + \text{やや良い} \times 1) \div 5社}{60.0\%} \right] - \left[\frac{(\text{やや悪い} \times 1 + \text{悪い} \times 0) \div 5社}{20.0\%} \right] = 40.0\%$$

全業種合計	対象先 135	回答先 132	回答率 97.8%
-------	---------	---------	-----------

全体調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
21.5%	27.4%	5.9%	25.2%	20.7%	-4.5%	12.6%	9.6%	-3.0%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
24.4%	23.0%	-1.4%	20.7%	11.1%	-9.6%	18.5%	13.3%	-5.2%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
3.0%	8.1%	5.1%	-2.2%	0.7%	2.9%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
70.0%	54.8%	-15.2%	35.0%	30.4%	-4.6%			

■概況 ※()内はDI値

全業種合計の業況判断DIは前回調査時より5.9ポイント上昇し、良化傾向(27.4%)は継続している。良化幅を上方へと向かわせたのは製造業、不動産業、建設業、運輸業。卸売・小売業については悪化傾向となった。他業種については、好調な業況を継続しており楽観視はできないものの、良好な先行きを示唆している。

売上については不動産業、サービス業、建設業で増加したが、卸売・小売業、医療・福祉が大幅に下降した。変化幅はマイナスとなったが、良化傾向(20.7%)は継続している。

収益面については全業種合計で前回は3ポイント下降したが良化傾向は継続。売上を大きく伸ばした不動産業サービス業が収益面でも大きく上昇させた。

収益面で良化幅を下方へと向けた業種は製造業、卸売・小売業、建設業、運輸業、の3業種。特に、卸売・小売業については、同業者競争の激化、売上停滞・減少等の要因から、前回は9.7ポイント下降し、悪化傾向に転じた。なお、7~9月の収益見通しでは、前回は比べて「やや良い」と回答した企業が増加し、「普通」と回答した企業が減少しており収益面については多少改善していくものと見込まれる。

国内景気は、緩やかな回復基調が続いているものの、先行きについては「人手不足」や「コスト上昇」、自然災害の影響等もあり楽観視はできない状況である。また海外に目を向けると、米国景気が引き続き好調であるが、米中の貿易摩擦や新興国の通貨下落など、為替、株式市場は落ち着かない状況が続いていくと思われる。

なお、借入によって資金調達を行ったのは全体の54.8%となり、前回は15.2ポイント下落した。

全業種合計の前年同期比売上は全体的に前回調査時9.6ポイント減少したが、良化傾向(11.1%)を継続。前年同期比の収益についても、前回は5.2ポイント減少したが、全体的に良化傾向(13.3%)を継続している。

なお、設備投資を行ったのは全体の30.4%であり、前回は4.6ポイント減少した。

経営上の問題点としては「人手不足」「同業者競争の激化」の項目が常態化しており、「人材確保」、「販路拡大」を当面の重点経営施策として挙げる企業が多い。

■特別調査	IT戦略および、今後3ヶ月(7-9月)の業績見込み
ITサービスの利用状況	「自社ホームページの開設」66社「SNS(フェイスブック、ラインなど)」26社、「スマートフォン、タブレット端末の導入」22社 「AIの活用」0社、「RPA(ロボットによる業務自動化)」11社、「その他」1社、「ITは活用していない」28社
今後のIT投資計画	「初投資の予定」2社、「拡大予定」34社、「現状維持」59社、「縮小」1社、「投資しない」26社
IT投資への課題	「IT人材不足」16社、「費用負担」33社、「セキュリティ面」11社、「費用対効果」44社、「その他」8社
業績(7-9月見込み)	「良い」5社、「やや良い」41社、「普通」71社、「やや悪い」11社、「悪い」1社
売上額(7-9月見込み)	「良い」6社、「やや良い」35社、「普通」75社、「やや悪い」12社、「悪い」1社
収益(7-9月見込み)	「良い」4社、「やや良い」31社、「普通」77社、「やや悪い」16社、「悪い」1社

業種別の概況・経営上の問題点・当面の対策・その他特別に調査した項目については、次ページ以降に内容を記載しております。

業種別
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
35.9%	46.2%	10.3%	33.3%	33.3%	0.0%	17.9%	15.4%	-2.5%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
25.6%	33.3%	7.7%	5.1%	25.6%	20.5%	15.4%	30.8%	15.4%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
-7.7%	0.0%	7.7%	-2.6%	-10.3%	-7.7%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
69.4%	61.1%	-8.3%	44.4%	40.0%	-4.4%			

■概況 ※()内はDI値

製造業全体の業況判断DIは前回調査時に比べて10.3ポイントと大幅に上昇し、良化傾向(46.2%)を継続した。

売上金額は前回比変化なく、良化傾向(33.3%)を維持した。

収益については原材料高等の影響により前回より2.5ポイントの下降となったが、良化傾向(15.4%)は維持した。

販売価格は前回と変わりなく、良化傾向(15.4%)を維持、一方で原材料価格、原材料在庫については悪化傾向が継続となった。

資金繰りについては7.7ポイントの上昇となった。借入実施割合は減少していることから、資金繰りについては改善傾向である。

前年同期比売上は前回比20.5ポイント上昇し、良化傾向(25.6%)を拡大した。同収益についても前回調査時より15.4ポイント上昇し、良化傾向(30.8%)を拡大した。

一方人材については、前回より7.7ポイント改悪し、不足傾向(-10.3%)が拡大した。

設備投資を行った先は全体の40%で、前回より4.4ポイント減少した。

■経営上の問題点

「人手不足」が18社でトップ。次点で「原材料高」が13社、「売上停滞・減少」が10社と続く。

景況アンケートでも原材料価格、人材の項目が悪化傾向となっており、引続き経営上の問題点となっていることが伺える。

■当面の対策

依然、対策としては「販路拡大」が最も多く、20社で重点施策とされている。次いで人材確保15社 技術力・営業力強化9社となっている。

■特別調査	IT戦略および、今後3ヶ月(7-9月)の業績見込み
ITサービスの利用状況	「自社ホームページの開設」21社「SNS(フェイスブック、ラインなど)」3社、「スマートフォン、タブレット端末の導入」3社 「AIの活用」0社、「RPA(ロボットによる業務自動化)」4社、「その他」0社、「ITは活用していない」9社
今後のIT投資計画	「初投資の予定」0社、「拡大予定」10社、「現状維持」16社、「縮小」1社、「投資しない」9社
IT投資への課題	「IT人材不足」5社、「費用負担」10社、「セキュリティ面」3社、「費用対効果」12社、「その他」1社
業績(7-9月見込み)	「良い」2社、「やや良い」15社、「普通」18社、「やや悪い」2社、「悪い」0社
売上額(7-9月見込み)	「良い」3社、「やや良い」11社、「普通」20社、「やや悪い」3社、「悪い」0社
収益(7-9月見込み)	「良い」1社、「やや良い」11社、「普通」22社、「やや悪い」3社、「悪い」0社

業況DIは前回調査時より上昇し、引き続き良化傾向を維持しております。売上は横這い、収益は微減となっているものの、依然として良化傾向は継続しております。

前年同期比では売上、収益共に大幅に増加している。

尚、今後の業績・売上額・収益の各見込み(7~9月)については「やや良い」と回答した企業が増加し、「やや悪い」の回答が減少していることから業況の改善が見込まれます。

業種別
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
-5.9%	11.8%	17.7%	5.9%	11.8%	5.9%	-11.8%	0.0%	11.8%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
11.8%	17.6%	5.8%	29.4%	29.4%	0.0%	29.4%	29.4%	0.0%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
5.9%	5.9%	0.0%	-5.9%	0.0%	5.9%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
50.0%	56.3%	6.3%	18.8%	12.5%	-6.3%			

■概況 ※()内はDI値

不動産業全体の業況判断DIは前回比17.7ポイント上昇し良化傾向(11.8%)に転じた。売上金額についても、前回調査時より5.9ポイント上昇し、良化傾向(11.8%)を維持した。販売価格は前回調査時より5.9ポイント改善したが、引き続き悪化傾向を継続した。業況、売上が良化傾向となり、収益面では前回の悪化傾向から横這いへと改善した。また、資金繰りについても前回比5.8ポイント上昇し、良化傾向(17.6%)を維持した。なお、借入によって資金調達を行った先は全体の56.3%であり、前回比6.3ポイント増加した。

一方で、売上における前年同期比では、前回同様となり良化傾向(29.4%)を維持した。また、同収益についても、前回同様となり良化傾向(29.4%)を維持した。残業時間についても前回調査同様に良化傾向(5.9%)を維持した。人材は前回より5.9ポイント改善し横這い(0%)となった。設備投資は前回調査時より6.3ポイント減少し、設備投資割合は12.5%となった。

■経営上の問題点

経営課題としては、前回と同様「同業者競争の激化」が7社でトップ。次いで「売上停滞・減少」が5社、「経費の増加」が4社と続いた。販売価格、仕入価格が前回比改善はしているものの悪化傾向が継続されていることから、「同業者競争の激化」が深刻であることが伺える。

■当面の対策

当面の対策は「販路拡大」が8社となりトップとなった。続いて「情報力の強化」が7社、「技術力・営業力の強化」、「人材確保」が各々5社と続いた。

■特別調査	IT戦略および、今後3ヶ月(7-9月)の業績見込み
ITサービスの利用状況	「自社ホームページの開設」8社「SNS(フェイスブック、ラインなど)」2社、「スマートフォン、タブレット端末の導入」2社 「AIの活用」0社、「RPA(ロボットによる業務自動化)」0社、「その他」0社、「ITは活用していない」6社
今後のIT投資計画	「初投資の予定」0社、「拡大予定」3社、「現状維持」8社、「縮小」0社、「投資しない」5社
IT投資への課題	「IT人材不足」1社、「費用負担」4社、「セキュリティ面」1社、「費用対効果」8社、「その他」2社
業績(7-9月見込み)	「良い」0社、「やや良い」1社、「普通」14社、「やや悪い」0社、「悪い」1社
売上額(7-9月見込み)	「良い」0社、「やや良い」2社、「普通」13社、「やや悪い」0社、「悪い」1社
収益(7-9月見込み)	「良い」0社、「やや良い」1社、「普通」13社、「やや悪い」1社、「悪い」1社

業況、売上DIは良化幅を拡大しました。収益についても大幅に改善し悪化傾向から中立となりました。業況、売上改善の背景には、販売価格、仕入価格が改善傾向に向かっていることや人材についても改善されていることが考えられます。業績・売上額・収益の見込みは大半が「普通」となり、前回に比べて「やや良い」と回答した企業は減少していることから、現状を維持していくものの、良化傾向が縮小していく可能性も示唆しております。

業種別
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
14.3%	7.1%	-7.2%	7.1%	28.6%	21.5%	0.0%	7.1%	7.1%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
28.6%	0.0%	-28.6%	14.3%	21.4%	7.1%	14.3%	0.0%	-14.3%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
7.1%	-7.1%	-14.2%	-14.3%	-7.1%	7.2%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
90.0%	69.2%	-20.8%	70.0%	46.2%	-23.8%			

■概況 ※()内はDI値

医療・福祉を除くサービス業の業況判断DIは、前回調査時と比べて7.2ポイント下落したが、良化傾向は維持した。売上金額については、前回比21.5ポイント大幅に上昇し、良化傾向(28.6%)は拡大した。前回調査時に悪化傾向だった料金価格、材料価格は大幅に改善し横這いとなった。その結果収益についても前回比7.1ポイント上昇し良化傾向となった。

また、借入によって資金調達を行った先は全体の69.2%であり、前回比20.8ポイント下落した。

前年同期比売上は前回比7.1ポイント上昇し良化幅を拡大した。

同収益については前回比14.3ポイント大幅に下降し、横這いに転じた。

人材については7.2ポイント改善したが、悪化傾向は継続となった。人材不足の影響から残業時間は前回比14.2ポイント下降し悪化傾向(-7.1%)に転じた。

設備投資を行った先は全体の46.2%で、前回調査時より23.8ポイント減少した。

■経営上の問題点

「同業者競争の激化」、「人手不足」が6社でトップ。続いて「利益幅の縮小」、「人件費の増加」が3社と続いた。「人手不足」は常態化しており、結果的に人件費の増加に繋がっている。

■当面の対策

依然として「人材確保」が7社で当面の対策として取組まれている。次点で「経費削減」が6社と続き、当面の対策についても前回調査と同様の項目があげられている。

■特別調査	IT戦略および、今後3ヶ月(7-9月)の業績見込み
ITサービスの利用状況	「自社ホームページの開設」9社、「SNS(フェイスブック、ラインなど)」7社、「スマートフォン、タブレット端末の導入」2社 「AIの活用」0社、「RPA(ロボットによる業務自動化)」0社、「その他」0社、「ITは活用していない」1社
今後のIT投資計画	「初投資の予定」1社、「拡大予定」5社、「現状維持」4社、「縮小」0社、「投資しない」2社
IT投資への課題	「IT人材不足」2社、「費用負担」2社、「セキュリティ面」0社、「費用対効果」5社、「その他」2社
業績(7-9月見込み)	「良い」1社、「やや良い」4社、「普通」8社、「やや悪い」0社、「悪い」0社
売上額(7-9月見込み)	「良い」1社、「やや良い」3社、「普通」9社、「やや悪い」0社、「悪い」0社
収益(7-9月見込み)	「良い」1社、「やや良い」3社、「普通」8社、「やや悪い」1社、「悪い」0社

業況は下方へと向かわせたものの、売上、収益に関しては良化傾向に向かっています。同業者競争の激化や人手不足などの問題を抱えながらも、料金や材料価格は大幅に改善し横這いとなりました。重点施策として「経費削減」をあげている企業も多く徐々に効果が表れているものと思われます。今後3か月の、業績、売上、収益見込みは「普通」と回答した企業が大半を占めるものの、「良い」「やや良い」と回答した数も前回調査時より増加しており業況の改善が続く可能性が高まっております。

業種別
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
3.2%	-3.2%	-6.4%	9.7%	-19.4%	-29.1%	6.5%	-3.2%	-9.7%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
6.5%	3.2%	-3.3%	22.6%	-32.3%	-54.9%	16.1%	-16.1%	-32.2%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
22.6%	32.3%	9.7%	3.2%	9.7%	6.4%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
66.7%	40.7%	-26.0%	22.2%	20.7%	-1.5%			

■概況 ※()内はDI値

卸売・小売業全体の業況判断DIは前回は6.4ポイント下落し、再び悪化傾向に転じた。売上についても29.1ポイント下落し悪化傾向(-19.4%)に転じ、収益についても9.7ポイント下落し悪化傾向となった。販売価格については6.5ポイント改善し、良化傾向(19.4%)を拡大したが仕入価格については前回同様悪化傾向(-19.4%)となった。

在庫については前回は12.9ポイント上昇と大幅に改善し良化傾向(3.2%)に転じた。

なお、借入によって資金調達を行った先は全体の40.7%となり、前回は26ポイント減少した。

前年同期比売上は前回は54.9ポイント大幅に下落し、悪化傾向(-32.3%)に転じた。

同収益についても前回は32.2ポイント下落し悪化傾向(-16.1%)に転じた。

残業時間は前回は9.7ポイント上昇し、改善傾向(32.3%)を拡張し、人材については前回は6.4ポイント上昇し、良化傾向(9.7%)となった。

設備投資割合は20.7%となり、前回は1.5ポイントの減少となっている。

■経営上の問題点

依然として「同業者競争の激化」が14社でトップ。次点で「売上停滞・減少」が9社、「材料高」「在庫調整」が6社と続いている。前回調査では「人手不足」が次点に問題点としてあがっていたが、改善に向かっている様子である。

■当面の対策

依然として「販路拡大」が16社でトップ。次点は「商品性の拡大」「料金調整」「資金繰り安定」が7社と続いた。「販路拡大」については多くの企業が重点施策として捉えているが、次点の施策については各社取組の違いがでてきている結果となっている。

■特別調査	IT戦略および、今後3ヶ月(7-9月)の業績見込み
ITサービスの利用状況	「自社ホームページの開設」15社「SNS(フェイスブック、ラインなど)」10社、「スマートフォン、タブレット端末の導入」8社 「AIの活用」0社、「RPA(ロボットによる業務自動化)」3社、「その他」0社、「ITは活用していない」4社
今後のIT投資計画	「初投資の予定」0社、「拡大予定」7社、「現状維持」15社、「縮小」0社、「投資しない」4社
IT投資への課題	「IT人材不足」4社、「費用負担」11社、「セキュリティ面」2社、「費用対効果」9社、「その他」0社
業績(7-9月見込み)	「良い」1社、「やや良い」7社、「普通」15社、「やや悪い」7社、「悪い」0社
売上額(7-9月見込み)	「良い」1社、「やや良い」6社、「普通」16社、「やや悪い」7社、「悪い」0社
収益(7-9月見込み)	「良い」1社、「やや良い」3社、「普通」18社、「やや悪い」8社、「悪い」0社

前回調査時に良化傾向となっていた卸売・小売業ですが、業況・売上・収益DI各々に大幅下落し悪化傾向に転じました。同業社との激しい競争は変わらず、販路拡大に加えて商品性の拡大や技術力・営業力の強化にも注力する姿勢が伺えます。

業績・売上・収益見込みについては、大半の企業が「普通」と回答しておりますが、「やや良い」以上の回答が前回より増加しており、低調な業況からの緩やかな回復を示唆する結果となりました。

業種別
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
28.6%	57.1%	28.5%	35.7%	50.0%	14.3%	21.4%	7.1%	-14.3%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
35.7%	35.7%	0.0%	7.1%	7.1%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
-14.3%	-7.1%	7.2%	-14.3%	0.0%	14.3%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
76.9%	57.1%	-19.8%	15.4%	14.3%	-1.1%			

■概況 ※()内はDI値

建設業全体の業況判断DIは前回比28.5ポイント上昇し、良化傾向(57.1%)拡大となった。
売上金額についても、前回比14.3ポイント上昇し、良化傾向(50%)拡大となった。
受注残高についても、前回比7.2ポイント上昇し、良化傾向(42.9%)を維持した。

資金繰りについては前回比横ばいとなり良化傾向(35.7%)を継続。
しかしながら収益については前回比14.3ポイント下落し、良化傾向(7.1%)縮小となった。

借入によって資金調達を行った先は57.1%で前回比19.8ポイント減少した。

前年同期比売上は前回比横這い、同収益については前回比14.3ポイント上昇し良化傾向(14.3%)に転じた。

残業時間は前回比7.2ポイント上昇し、悪化傾向(-7.1%)が縮小した。
人材不足については前回調査時より14.3ポイント上昇し、横這いとなった。

なお、設備投資を行った先は14.3%となっており、前回よりも1.1ポイント減少した。

■経営上の問題点

依然として「同業者競争の激化」が10社と最も多く、次いで「経費の増加」が6社と続いた。
前回調査と同様の結果となったが、意識する企業数は増加に転じている。

■当面の対策

「販路拡大」が10社でトップ。次点で、「技術力・営業力強化」が6社と続いた。
同業者競争に勝ち残るため、他社との差別化を図る「技術力・営業力の強化」
に注力することが伺える結果となった。

■特別調査	IT戦略および、今後3ヶ月(7-9月)の業績見込み
ITサービスの利用状況	「自社ホームページの開設」4社、「SNS(フェイスブック、ラインなど)」2社、「スマートフォン、タブレット端末の導入」3社 「AIの活用」0社、「RPA(ロボットによる業務自動化)」2社、「その他」0社、「ITは活用していない」5社
今後のIT投資計画	「初投資の予定」1社、「拡大予定」3社、「現状維持」6社、「縮小」0社、「投資しない」4社
IT投資への課題	「IT人材不足」2社、「費用負担」2社、「セキュリティ面」2社、「費用対効果」3社、「その他」2社
業績(7-9月見込み)	「良い」0社、「やや良い」6社、「普通」8社、「やや悪い」0社、「悪い」0社
売上額(7-9月見込み)	「良い」0社、「やや良い」6社、「普通」8社、「やや悪い」0社、「悪い」0社
収益(7-9月見込み)	「良い」0社、「やや良い」6社、「普通」8社、「やや悪い」0社、「悪い」0社

業況、売上については前回調査時より良化幅を上方に向かわせ、好調な業況を継続しております。しかしながら収益については良化傾向は継続しているものの、前回調査時より下方に向かう結果となりました。

引き続き受注残高についても業況は良化傾向を維持していることから、今後3か月の見込みについては全企業が普通以上の回答となり、今後も好調な業況が見込まれます。
しかしながら、引続き激しい競争、経費の増加の問題は解消しておらず、また人材確保も問題視されていることから、他社との差別化を図るために、技術力・営業力強化に取り組む姿勢が伺えます。

業種別
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
44.4%	66.7%	22.3%	55.6%	55.6%	0.0%	44.4%	33.3%	-11.1%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
44.4%	66.7%	22.3%	44.4%	55.6%	11.2%	22.2%	33.3%	11.1%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
-11.1%	11.1%	22.2%	-11.1%	33.3%	44.4%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
75.0%	50.0%	-25.0%	62.5%	75.0%	12.5%			

■概況 ※()内はDI値

運輸業全体の業況判断DIは前回は22.3ポイント上昇し、良化傾向(66.7%)を拡張した。売上金額は前回比変化なく、良化傾向(55.6%)を継続、収益面については前回比11.1%下落したが、良化傾向(33.3%)は維持した。燃料価格については横這いとなった。料金価格は11.1ポイント悪化したが良化傾向(33.3%)は継続。資金繰りについては22.3ポイント上昇し良化傾向(66.7%)を拡張した。

なお、借入によって資金調達を行った先は全体の50%であり、前回比25ポイント減少した。

前年同期比売上は前回比11.2ポイント上昇し、増加傾向(55.6%)を継続。同収益も同様に、前回比11.1ポイント上昇し、増加傾向(33.3%)を継続している。残業時間は前回比22.2ポイント改善し、良化傾向(11.1%)に転じた。

また、人材は前回比44.4ポイント上昇し、良化傾向(33.3%)となった。なお、設備投資を行った先は75%となり増加(12.5%)した。

■経営上の問題点

「人手不足」、「同業者競争の激化」「経費の増加」が4社で並んだ。人手不足は前回調査時より減少し新たな問題が浮上してきた様子である。

■当面の対策

「人材確保」が6社でトップ。次点で「社員教育」が3社と続いた。引続き人材に対しての経営意識が高まっていることが伺える。

■特別調査	IT戦略および、今後3ヶ月(7-9月)の業績見込み
ITサービスの利用状況	「自社ホームページの開設」3社、「SNS(フェイスブック、ラインなど)」1社、「スマートフォン、タブレット端末の導入」2社 「AIの活用」0社、「RPA(ロボットによる業務自動化)」0社、「その他」1社、「ITは活用していない」2社
今後のIT投資計画	「初投資の予定」0社、「拡大予定」3社、「現状維持」4社、「縮小」0社、「投資しない」1社
IT投資への課題	「IT人材不足」0社、「費用負担」2社、「セキュリティ面」2社、「費用対効果」2社、「その他」1社
業績(7-9月見込み)	「良い」1社、「やや良い」4社、「普通」4社、「やや悪い」0社、「悪い」0社
売上額(7-9月見込み)	「良い」1社、「やや良い」3社、「普通」5社、「やや悪い」0社、「悪い」0社
収益(7-9月見込み)	「良い」1社、「やや良い」3社、「普通」4社、「やや悪い」1社、「悪い」0社

業況、売上、収益共に、好調な良化傾向を継続しております。燃料価格については横這い、料金価格については変化幅が下方に向かい収益への影響は懸念されるものの、景況感には良化傾向を拡張しております。人材は不足感が改善され良化傾向となり、残業時間についても良化傾向となっております。7-9月の業績、売上、収益については多くの企業が「普通」以上の回答となっており、引続き好調な業況が続くことが予想されます。

業種別
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
45.5%	27.3%	-18.2%	54.5%	27.3%	-27.2%	27.3%	27.3%	0.0%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
54.5%	27.3%	-27.2%	63.6%	9.1%	-54.5%	45.5%	9.1%	-36.4%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
9.1%	9.1%	0.0%	27.3%	0.0%	-27.3%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
80.0%	50.0%	-30.0%	30.0%	20.0%	-10.0%			

■概況 ※()内はDI値

医療・福祉分野の業況判断DIは前回比18.2ポイント減少したものの、良化傾向(27.3%)を維持した。売上金額についても、前回比27.2ポイント減少したものの、良化傾向(27.3%)を維持した。ペット稼働率については前回調査時よりも36.4ポイント減少し良化傾向(9.1%)を縮小、通院者数についても36.3ポイント下落し良化傾向(18.2%)を縮小した。収益については前回比横這いとなり、良化傾向(27.3%)を維持した。また、資金繰りについては前回比-27.2ポイントと大幅に下降したが、良化傾向(27.3%)を維持した。

なお、借入によって資金調達を行った先は全体の50%であり、前回比30ポイント減少している。

また、前年同期比売上は前回比54.5ポイント減少したものの、良化傾向(9.1%)を維持。同収益については、前回比36.4ポイント下降したものの、良化傾向(9.1%)を維持した。残業時間は前回比変化なく、良化傾向(9.1%)となった。人材面では、前回比27.3ポイント下降し横這いとなった。なお、全体の20%の先で設備投資を行っており、前回比10ポイント減少した。

■経営上の問題点

依然として「人手不足」が最も多く8社。続いて「人件費の増加」が4社となった。慢性的な「人手不足」は深刻さを増し、大きな課題として捉えられている。

■当面の対策

「人材確保」が依然として最も多く8社でトップ。次点で「経費削減」が4社と続いた。優秀な人材確保に注力することに加えて、経費削減を行い、収益を向上する施策が重要となってきている。

■特別調査	IT戦略および、今後3ヶ月(7-9月)の業績見込み
ITサービスの利用状況	「自社ホームページの開設」6社、「SNS(フェイスブック、ラインなど)」1社、「スマートフォン、タブレット端末の導入」2社 「AIの活用」0社、「RPA(ロボットによる業務自動化)」2社、「その他」0社、「ITは活用していない」1社
今後のIT投資計画	「初投資の予定」0社、「拡大予定」3社、「現状維持」6社、「縮小」0社、「投資しない」1社
IT投資への課題	「IT人材不足」2社、「費用負担」2社、「セキュリティ面」1社、「費用対効果」5社、「その他」0社
業績(7-9月見込み)	「良い」0社、「やや良い」4社、「普通」4社、「やや悪い」2社、「悪い」0社
売上額(7-9月見込み)	「良い」0社、「やや良い」4社、「普通」4社、「やや悪い」2社、「悪い」0社
収益(7-9月見込み)	「良い」0社、「やや良い」4社、「普通」4社、「やや悪い」2社、「悪い」0社

業況、売上については、大幅に減少しました。しかしながら良化傾向は維持し、依然として好調な業況となっております。減少の要因としてはベッド稼働率、通院者数が影響しているものと思われます。一方で、収益DIについては前回比横這いとなり経費削減などの効果が表れた結果となりました。当面の施策として、サービス業の要である、人材確保が重要視されており、人手不足に加え、採用した人材の早期戦力化が重要と認識されています。